

令和5年第10回田原市教育委員会定例会

- 1 開会 令和5年10月24日 午後1時30分
- 2 閉会 令和5年10月24日 午後2時20分
- 3 会議に出席した委員
太田孝雄教育長職務代理者、金田真也委員、高崎佐智江委員、
田中早苗委員
- 4 会議に欠席した委員
教育部長 増田直道
- 5 会議に出席した職員
教育総務課長 大羽浩和
学校教育課長 峠 尚良
生涯学習課主幹 太田征樹
スポーツ課長補佐兼係長 石原伸剛
文化財課長 天野敏規
図書館長 是住久美子
教育総務課長補佐兼係長 木村真一
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第10回定例会議事日程

日 時 令和5年10月24日（火）

午後1時30分

場 所 南庁舎4階 政策会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 議 題

- (1) 令和6年度教職員定期人事異動方針について

4 報告事項

- (1) 教育委員連絡報告事項
- (2) 小学校への寄附について

5 その他

教育長

開 会 午後 1 時 30 分

本日は、何かとご多用のところご出席くださいましてありがとうございます。

ただいまの出席者は 5 名であります。定足数に達しておりますので、令和 5 年田原市教育委員会第 10 回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第 13 条第 2 項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、金田委員と高崎委員のご両名を指名させていただきますのでよろしくお願いいたします。

教育長

それでは議題に先立ち、教育長報告を私からさせていただきます。教育委員会報告という資料をご覧ください。

9 月が大変暑く、夏休みが終わっても真夏のような気候の 1 か月だったのですが、10 月に入るととても過ごしやすいといえますか、急に季節が進んだような感じがしております。教育長メモを見ても 9 月 22 日の前回の定例会の頃というのは、まだ真夏のような、30℃を超えるような暑さだったかなと思っておりますが、近頃でいいますと朝夕はかなり涼しくなってきた、過ごしやすくなってきたのかなと感じております。

今回の教育長メモでいきますと、学校訪問が大変たくさん入っております。2 学期の学校訪問が全てこの 1 か月の中にちょうど納まっておりますので、9 月 27 日の福江小、福江中の訪問から始まりまして、先週になりますが 10 月 19 日の泉小、清田小の学校訪問で予定した学校訪問は全て終了しております。全部で 2 学期は 11 校に訪問する機会を得ることができました。全体を通して、各学校が本当に一所懸命子どもたちの指導、教育活動を行ってくれているというのが率直な感想であります。どの学校も子どもたちが落ち着いて授業であったり、学校生活が送れているというのが、どの学校にも共通する部分であったと思っております。

それから、それぞれの学校がその学校の特色を生かした教育活動をやっていること、そういったこともとても感じ取ることができました。市内の学校といっても、学校規模も、校区の様子も本当に様々な違いがあるものですから、それぞれの状況に応じてそこでの良さを生かすような、そんな取組を各学校がしてくれているという、そのようなことも感じました。

それから、これもどの学校についても言えることですが、地域から絶大な支援を受けている、どの学校についても本当に温かな地域の方々、校区の方々の支えがある。それから子どもたちの学ぶ対象とな

る教材、そういったものもどの学校にも豊かに本当にあるなと思いました。その校区のそれぞれの校区の人たちというのでしょうか、学校にかかわってくださる方たち、子どもたちの教育に関わってくれる人たち、そういった方たちとの、子どもたちとの温かな交流であったり、関わりであったり、そういったものも多くの学校で見ることができまして、ふるさと教育の非常に大切な部分ということで、本当によくやっていたらいるということを感じた次第であります。

ただ、どの学校にも課題はたくさんあります。どの学校でもやはり不登校の子がおり、その対応で苦勞されているということがございます。

それからそれ以外にも、子どもたちの生活面で心配な子というのがやはりどの学校にもおまして、それぞれに真摯な対応を組織として行っている、そんな状況を多く見ることができました。おおむね良い状況で進んできているのですが、課題もたくさんあるものですから、市教委としてもこれから様々な形でできる限りの支援を学校現場にしていきたいということを改めて感じた次第でございます。

その他のことで幾つか報告をさせていただきます。

10月7日の日にドナルド・キーンと渡辺崋山展の開会式、それから午後には、対談がございまして参加してまいりました。ドナルド・キーンさんが本当に著名な方なのですが、今回の展覧会で改めてドナルド・キーンさんのことが私もよく知ることができて、本当に日本人以上に日本の文化のことをよく知っており、日本を愛してくださった方だなということを改めて感じました。私ども、日本人がいかに関心がないか、このすばらしい日本ということをあまり意識せずに普段生活をしてきたり、あるいはその文化のことを大事にしたり、誇りに思ったりとそういったことがもっとあつてしかるべきではないかと、そんなことをドナルド・キーンさんに触れて改めて感じさせられた次第であります。

それから対談で、キーンさんの御子息のキーン誠己さんと、翻訳家の角地さんの対談があつたのですが、こちらでも非常に質の高いよい対談をしていただいて、キーンさんの人となりであったり、様々な私たちが普通だと分からないようなことも知ることができました。それからお二人とも非常に人柄がすばらしいといいますか、本当に文化人だなということを身近に接することができたものですから、非常にうれしく思った次第であります。

それから、展覧会そのものも普段見られない崋山のすばらしい作品が多数展示されていて、非常に見応えのあるすばらしい展覧会であると感じております。まだ、会期がありますので、またぜひ何度か足を運びたいなと思っております。

それから、10月12日、田原市学校保健会の定期総会と研修会が文化ホールでございました。

研修会では、寺田智輝さんという方の講演をお聞きました。非常に印象に残る講演だったので、それに触れさせていただきます。

寺田さんという方が、実はトランスジェンダーの方で、女性として生まれたのですが、心と体のギャップに悩まれて、今は男性として生きて見える方であります。これまでのご自身の半生を包み隠すことなく語っていただいて、聞いていて本当に心に響くことがたくさんありました。多様性を認めるというようなことをよく言われている時代ですが、現実には言葉だけが先走りしていて、実際にはなかなかそういった方たちが理解されない、あるいは、周りの者が理解しようとしにくい、そんなような実態がまだあるのだなということを改めて感じました。学校現場でも最近、そういったことが大分話題になるようになってきております。

私たち教育現場に関わる者にとっても、やはりこれは非常に大きな問題であるし、意識をしてこういったことに関わっていくようにしないと、いつまでも何か分からないまま過ぎていくような、いざ何か事が起きたときに慌てて対応するような、そのようなことにもなりかねないと思った次第であります。自分自身もこういった方たちのことをよく知らないですし、無意識のうちに色眼鏡で見ていたのかなと、そのように非常に自分のことを振り返られる講演会になりました。

それから10月20日、先週のことになりますが、愛知県のへき地教育研究会研究発表会が佐久島でございましたので、参加してまいりました。佐久島しおさい学校という義務教育学校が会場校であります。小中学生に該当する子たちが在籍しているのですが、全部で20数名でありました。そのうち実は、半分以上の子たちが島の外から通っております。島に住んでいる子というと、本当にわずかな人数になってしまっていて、特認校という形で区域外、校区外から通うことが認められている学校なものですから、今なんとかそれだけの規模を保っているわけですが、そんな中で私、実は非常に感動して帰ってまいりました。どの授業も本当に質の高い、すばらしい授業をされておりました。子どもたち一人一人のことを本当に大切にされ、授業のこともよく練られて、授業力のある先生方がよい授業をされておりました。

研究のタイトルは、ふるさとに夢や誇りを持って未来の作り手となる子どもの育成ということでございました。私たちが日頃から大切にしているふるさと教育にも本当に非常によく似たテーマでございます。ある意味、究極のふるさと教育を見させてもらったというように感じてきました。

日々の学校生活、島での生活自体が実は子どもたちにとっても、教

員にとってもまさに日常のふるさと教育を行っている、そのようなことを感じました。常に教育活動の中に、島での生活というものを意識していかないと、なかなか成り立たないという、そういう部分がございます。だからあえて、教材として島のことを取り上げたりだとか、島の将来のことをみんなで話し合ったりとか、そういったことももちろんするのですが、そうでなくても日常の活動の中に島があると、そのような感じがしました。

私が何よりも印象に残っているのが、子どもたちの本当に生き生とした笑顔と、それを指導している先生方も同じように生き生きとした笑顔でありました。本当にここでの生活を満喫していて、この学校が大好き、この島が大好きであると心からそう思いながら生活をしている、そんな姿を見ることができて非常に感動して帰ってまいりました。私たちが目指しているふるさと教育というのも、そういった姿を目指しているのかなということを、もちろん置かれた状況はずいぶん違うわけですが、目指すところはやはりそこかなと、今いるこの場所、この学校が本当に大好きで、そこでの暮らしが本当に充実しており、学びが楽しいと思える子どもたちが学校で生活できることを私たちは願っているのかなと、そのようなことを改めて思った次第でございます。

以上、私からの教育長報告とさせていただきます。

何かご質疑がありましたら受けたいと思いますが、いかがでしょうか。

ご質問もないようですので、教育長報告事項を終わります。

教育長

では、これより議題に入ります。

初めに、議案第19号「令和6年度教職員定期人事異動方針について」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

学校教育課長

よろしくお願いいたします。

令和6年度教職員定期人事異動方針につきまして、愛知県教育委員会に出されたものを受けて、田原市でも別紙の資料のとおりの方針を作成いたしましたのでご意見、ご審議をよろしくお願いいたします。

令和6年度田原市小中学校教職員定期人事異動方針、田原市教育委員会でございます。

市民の信託に応えて本市公立小中学校の一層の充実・振興を図り、一層高度化・複雑化する課題に対して、スピード感を持ってこれに対応できるよう、教職員の意識改革・士気高揚を求め、組織力を向上させるため、愛知県教育委員会の教職員定期人事異動方針を踏まえ、別紙の資料でございますが、次の基本方針に基づいて定期人事異動を実施する。

1、適材適所を旨として公正かつ適正な異動を行い、年度当初から組織力を発揮できる体制づくりを図る。

	2、職務経験の多様化や本市公立学校教育の将来を担う人材の育成をねらいとした配置を推進する。 3、全市的な視野に立ち、広域にわたる人事をさらに推進し、教職員の意識向上及び職場の活性化を図る。 4、特別支援教育の一層の充実や各学校の魅力化の推進や課題解決をねらいとした配置に努める。 5、校長、教頭等への昇任に当たっては、厳正かつ公平な審査に基づき、勤務成績が優秀で、かつ、意欲、行動力を有する教職員を男女を問わず登用する。特に、改革意識を持ち、効率的な業務運営を行うための高い経営センスと管理・監督能力を備えた人間性豊かな教職員を登用する。 以上でございます。 これにつきましては、市内の全教職員に県のものに合わせて配付をする予定でございます。 以上です。
教育長 太田委員	事務局の説明が終わりました。ご質問等ございますでしょうか。 人事異動方針とは直接関連がないかも知れませんが、今年度から定年が延びていくということで、それについては異動方針には文言として出てこないと思うのですが、今現在、例えば役職にある校長先生、教頭先生について、どのような形で延長となり、今後どのような勤務にされるかというところが決まっておりますらご説明いただければと思います。
学校教育課長	現状、本人から意向調査をまず行いまして、定年が61歳までになるものですから、退職が1年延びることになるのですが、いわゆる役職定年でありますので、教頭、校長につきましては、管理職ではない教員になるということでございます。その上で、来年度61歳の年をどのような勤務を希望するかということで、そのまま教員として定年延長していく場合、それから1年前になるのですが退職をして講師等になるという場合、それから60歳で退職をし、全く別の仕事、別のことに従事するという、そういった意向調査をした上で本人の意向を踏まえて配置をするというように考えております。
教育長	その他いかがでしょうか。 では、その他のご質問はないようですので、お諮りいたします。
委員	議案第19号「令和6年度教職員定期人事異動方針について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。
教育長	(異議なし) では、ご異議なしということで、議案第19号につきましては、原案どおり可決いたしました。
教育長	続いて報告事項に入りたいと思います。

太田委員

それでは、教育委員の皆様方の連絡・報告事項を順次お願いしたいと思います。

太田委員からお願いします。

私は、10月19日に清田小学校の学校訪問へ行かせていただきました。

まず、環境面につきましては、大変緑が多い学校で特に樹木は大木で、しかも運動場も芝生がありまして、管理が大変ではないかなという感じでしたが、とてもよく整備されていました。教職員の数も減ってきておりますので、地域の方やあるいは市の支援を上手に活用できればということをおっしゃっていました。

それから、校舎も大変老朽化しておりまして、長寿命化の一貫として5月から体育館の改修工事を行っておりました。併せて玄関前の整備もしておりまして、玄関前もたくさん木がありましたけど、少しすっきりされていたように思います。

児童につきましては、全校93名ということで各学年1学級ですが、感心したのは、特別支援学級が3学級、在籍が11名で全校児童の約12%が特別支援に入っているという計算になります。併せて通級教室も開設されているということで、1年生が21名ですけど、ほかの学年は9名から16名ということで、とてもコンパクトに、きめ細かな指導ができる体制が整っているなというように思いました。校長先生の目標の一つに、個々の特性や学習到達度に応じた指導方法や教材の工夫というのが掲げられておりましたけれども、そのような学級体制ができておりまして、授業参観で回っていきましても大変子どもたちが落ち着いて、楽しく集中して、意欲的に授業に取り組んでいるように思いました。

今日的な指導の中に、主体的対話的な学びを目指すというのがありますけれども、授業につきましては、まだやはり教師中心、あるいは教師と児童の一对一の関わりが、子どもたちの関わりというのが少し弱いように感じました。

それから小規模校ということで、清田小学校は縦割り班活動だとか、異学年の交流に加えて、亀山小学校との交流をいろいろな行事の中や日常的にも行っているということで、限られた人数だけでなく、外にも広げて、子どもたちの見方、考え方を広げたり、他者と関わるようなそういう場面を設定しているというのが大変感心をしました。

清田小学校については以上ですが、今、市政20周年ということで、この10月からいろいろな行事が行われておりますが、今週、田原市の文化祭があります。今年は市民まつりとのタイアップでありますので、私、文化協会に入っておりますので、またお時間がありましたら、田原会場は10月27日から29日、田原文化会館です。渥美のほうは28日と29日ですが、渥美文化会館ということで2会場大きく行われま

教育長

金田委員

すので、ぜひ文化協会の会員だけでなく、市民の作品だとかいろいろな発表等ありますので、お越しいただければというように思います。

以上です。

ありがとうございました。

続きまして、金田委員お願いします。

10月5日に男女共同参画推進懇話会に参加させていただきました。これに限っては1点に絞って報告させていただきます。

最後の各委員の取組状況を通じて、河合沙矢子委員から性教育を外部委託で学校教育に取り入れてくれたらという要望をいただきました。この方は、y a r o m a i とローマ字で書いた団体に所属していて、助産院から助産師を招き、親子で学ぶ性教育を行い、反響が大きかったと言っていました。8月6日の日には、小学校3年生以下の親子対象に、思いプライベートゾーンについて学んだそうです。

今後も11月11日は、小学校4年生以上の親子を対象に、より具体的な妊娠の仕組みや避妊の方法を講習するそうです。

委員からは、昨今の性加害、性被害を踏まえて性教育を通じて、子どもたちに自分ごととして、自分自身を守ってほしい、そんな願いが伝わってまいりました。学校教育に対して、期待の大きさをすごく感じさせていただきました。

次に10月7日に、特別展ドナルド・キーンと渡辺崋山の開会式に参加いたしました。博物館開館30年ということでも賑やかでした。また、展示物も重要文化財など、いつも以上にそろっていて、素人でもかなり力が入っているのが伝わってまいりました。

数か月前に博物館に行ったときに、博物館が開館するに当たって、5パターンの設計図がありまして、それを見る機会があったのですが、この設計が一番よかったのかなと、そのように感じました。

また、昼からドナルド・キーンを語るという対談を聞いて、キーン先生の息子と翻訳家でもある先生の対談を聞き、改めて先生の歴史だったり、人柄などを聞くことができました。

キーン先生の翻訳は、簡潔で無駄なく、分かりやすい、そういったところは、自分自身こうやって話すときにも参考にしなければならないのかなと、そのように思いました。とにかく、この午前も午後も超満員で、遠方からの方も来ていて、キーン先生の人気というのが伝わってまいりました。

次に、学校訪問に衣笠小学校と童浦小学校に行ってまいりました。

衣笠小学校は336人、堂浦小学校は401名と、どちらの学校も市内では生徒数が多い小学校で、人数が多いと活気があっていいのですが、一方で少人数クラスに比べて先生の目が行き届かない部分があるのかなというのを感じさせていただきました。低学年の元気なクラスに

は、学習指導員を2名つけているケースも見られ、限られた人員で全員がしっかり学べるように、誰一人取り残されないような授業に心掛けていたのが伝わってまいりました。また、スクールソーシャルワーカーを通じて、中学校に行った生徒の登校状況など、情報交換をしていると先生方から聞きました。ノーマークだった子が不登校になると、何でだろうと考える。常に子どもたちのことを先生方は考えてくれているのだなというのも伝わってまいりました。

また、学校がこれだけ対応策を施していても報道では不登校の生徒が増えているというのはなぜなのだろう。家庭それぞれの考え方や社会が大きく変わってきている。対策を打つのであれば、学校だけでなく、他にも手を打つ必要があるのかなと、そのように感じます。

次に最後ですけれども、10月10日、東部中学校の3年生の総合学習時間のゲストティーチャーということで参加させていただきました。

手紙を見て、目的が中学校3年生の自分自身を見つめ、進路、仕事に対する視野を広めるということと、自分の住む地域を知る、ふるさとを愛する心情を育てると書いてありましたので、自分は何を話そうと思ったときに、いろいろと話を決めて行ってまいりました。農業以外にも飲食店や保育園、授産所さんなど8ブースに分かれて行われていました。我々のブースは、農政課の職員が田原の農業のすごさを伝えていたのと、自分の話になったときは、僕はみんなと同じぐらいの年頃は、絶対に農家だけはやりたくなくて、あわよくば田原を出ようかなあと考えていたのですが、今はこうやってガッツリ農業をやっている。そして、大変な面もあるけど、充実しているという話をさせていただきました。

最近、先生から子どもからの感想をいただいて、多少なりとも学校側の目的に沿えることができてよかったと、そのように思いました。

自分からは以上です。

ありがとうございました。

続いて、高崎委員お願いします。

私は、4つに絞ってお話をさせていただきたいと思います。

まず1つ目、9月27日、福江中学校を学校訪問いたしました。

まず、素朴でとても生き生きとしていらっしゃるお子さんが印象的でした。これは、私がいつも思うとおり、人間が伸びていくためには根本に意欲、生きていく力にとって必要なのは意欲だなと考えています。そして、これにはやはり校長先生をはじめ、先生方の陰のご配慮というのがかなりあると思っています。ですので、先ほど教育長さんのおっしゃった質の高い授業力、これを先生方が一番に学ぶことが大事だと考えています。この福江中学校に関しましては、若い先生方が多く、そして、のんびりとした雰囲気もありとてもすばらしい学校だなとお見受けしましたけれども、このタブレットを使ってそして、地

教育長

高崎委員

方でも全く同じ教育ができるということで、かなり人間として伸びていく余力というもの、根っこというものを感じさせられるなということが、私が感じた印象です。

そして、帰りに園芸部の皆さんが花壇を整備して、先生方とにここ学校に対する貢献されているところが印象的でした。

2番目として、10月2日、教育委員辞令交付式に出席させていただきました。市長より交付していただきまして、私は思いましたのは価値ある存在として活動したいという気持ちでございます。2期目に入りますが、4年ほど前を振り返りますと、自分に軸が向いていたのではないかなと考えます。子どもたちがお世話になっていた方へ貢献させていただきたいという安易な気持ちでございましたけれども、この4年間皆様に育てていただき、私も少しではありますけれども、成長させていただいたように思います。これは、今の保護者の方を拝見して、かなりジェネレーションギャップがあったり、国の法律が変わったり、私自身が学びそして、見守るという立場に来たのではないかと考えています。ですので、価値ある存在として今後、4年間活動できるように努めていきたいと思いますので、どうぞ皆さんよろしくお願いします。

3番目、先ほど、ドナルド・キーンさんの話をされていたので、少し私が出席させていただいたお茶会で感じたことを申し上げたいと思います。

豊橋市でございましたけれども、娘と出席させていただき、まず、ご高齢の方が多いということです。これはやはり、日本文化をいかに今の若い方たちが離れているかなということを感じました。ですので、少ない存在ではありますけれども、日本人としてのアイデンティティをきちんと守ってこれからも生きていきたいなという自分の戒めにもなり、楽しませていただきました。

4番目です。来週から田原中学校の職場体験が始まります。これは、私の勤務先で受け入れさせていただくのですが、昨日私がカリキュラムを例年のものを参考にして作らせていただきました。これは、当社の社長の考えではあるのですが、この経験が本当に安易な気持ちで先ほどと同じですが、貢献させていただきたいという気持ちではございましたけれども、その子の職ということに対して、働くということに関してのまず一歩かなと考えています。ですので、まずは楽しい、働くってどんなことなんだろうという希望を持っていたら幸いかなと思い、カリキュラムを考えさせていただきました。

以上です。

ありがとうございました。

最後に、田中委員お願いします。

私からは、2点報告いたします。

教育長

田中委員

9月27日、福江小学校の学校訪問に伺ってきました。北校舎の改修が終わり、2学期より生まれ変わった校舎を使用しており、仮校舎の解体が進んでいました。改修された校舎は、床やロッカーが木目で明るく、黒板はライトがつき、上下にスライドできるものになっていました。この黒板ですけど、ホワイトボードではなく、黒板にしたいというのは、職員の希望をかなえたらしくて、良い職場関係が築けているのだらうなと思いました。私が気に入りましたのは、教室の表札が黒板になっていて、手書きですぐに書き換えられるというか、温かい雰囲気だととてもいいなと思いました。トイレもセンサーライトになって、とても明るく衛生的でした。

児童たちの授業の様子ですが、みんな元気よい印象で、グループ学習でわいわいととても楽しそうにしていたのが印象的です。

給食を一緒にいただいたのですが、牛乳ビンからパックに変わっており、環境配慮からストローなしでした。校長先生に伺ったところ、食後全児童が自分でパックをゆすいで開くそうです。低学年は、自分でできるか心配だったそうですが、破れても大丈夫と声をかけたり、少し手助けをしたり、そうすると徐々に上手に低学年でも自分でできるようになったそうです。むやみに手助けをするのではなく、できるように指導するというのはとてもいいなと思いました。

2点目です。

10月6日に若戸小学校へ学校訪問に伺ってきました。

海と山が近く自然豊かな学校で、とてもすてきだなと思いましたけど、塩害でゴーヤがすぐ枯れてしまったり、扉が動かなくなったり、よいことばかりではないそうです。

私が良いなと思ったのは、全校児童が86名という小規模校なのに、支援級が3クラスもあるということです。支援が必要な児童は、いろいろな特性があり、デリケートなので児童それぞれに手厚い指導ができる環境がとてもうらやましいなと思いました。

うらやましいなと思ったのは、私の長男が低学年のときに支援級にお世話になっていたのですが、その当時清田小には支援級が2クラスしかなくて、ちょっと特性の違う子と2人で同じクラスで、そのもう1人の児童と折り合いが悪く、けんかすることが多々あったので、先ほど太田委員さんの清田小訪問で支援級が3クラスになったというのを聞いて、時代が進んできているというか、児童一人一人に寄り添って、環境が変わってきているということで、ありがたいなと思いました。

若戸小の支援級についてですけど、2クラスは1人ずつ、1クラスは1年生と5年生の2人の情緒、自閉のクラスで、この2人の指導を1人の先生がされていたのですが、この学年差を同じ教材で指導されていて、とても工夫されていました。この2人は高学年の児童が手助

教育長

けしたり、縦割り班のような関係で助け合うというのが自己肯定感も育まれるので、良いのではないかなと思います。校長先生は、明日も行きたい学校を目指しているとおっしゃっていました。児童も学校内も明るく楽しそうで、明日も行きたい学校になっているなと感じました。

以上です。

ありがとうございました。

次に、報告事項（２）「小学校への寄附について」事務局から報告をお願いします。

教育総務課長

それでは、その次の資料をご覧いただきたいと思います。

教育関係寄附一覧、一番下の部分11番目をご覧ください。

10月2日に石川勝さんという方から泉小学校に教育環境充実のためという目的で1,000万円の寄附がございました。

石川さんという方は、泉地区出身の方で現在、80歳ぐらいになられる方で、お住まいは長野県南佐久郡にお住まいだそうです。東京に会社をお持ちになっていて、コンピューター系のアルファテックスという会社の取締役会長さんだそうです。この方から泉小学校のために、ご寄附が1,000万円ほどございましたので、ご報告させていただきます。

以上でございます。

教育長

ただいま事務局の報告がありました。

ご質問等がございますでしょうか。

ご質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。

教育長

次にその他ですが、事務局からありましたらお願いします。

教育総務課長

それでは、行事の予定を先にお伝えしたいと思います。

次のページです。教育委員出席日程（案）についてということで、本日10月第10回の定例会を行っております。前回もお話のとおり、明日連続で申し訳ございませんが、20周年の記念給食ということで、給食センターにお伝えしたいと思います。皆さんご出席ということで、12時から給食が始まりますので、お時間までに各自で給食センターにご参集いただきたいと思います。

そして11月17日は、第11回の定例会を予定しております。今度は、302会議室で行います。

次に、11月25日は、田原市小学校音楽祭が渥美文化ホールで行います。

そして12月の第12回の定例会を12月15日金曜日に予定したいと思います。お時間は、夕方4時からになりますので、よろしくお願いいたします。

私からは以上で、その他関連イベントで説明があればお願いします。

生涯学習課主幹

す。

生涯学習課からですけれど、お手元に令和6年田原市二十歳の集いの資料が届いているかと思いますけど、ご覧ください。

来月の定例会で、課長から細かい説明があるかと思いますが、来月も、要点だけ説明をいたします。

まず、日時ですけれども、令和6年の1月7日の日曜日、午前10時から開催をいたします。会場でありますけれども、昨年までは田原会場と渥美会場、新型コロナウイルス感染症の関係で2会場で行っていましたが、ようやくコロナも落ち着いてきましたので、今年度から元どおりの田原会場、田原市の総合体育館アリーナ1箇所になりますので、お願いします。

それから、関係の皆さんにはまた別途、12月初旬頃にお手紙で通知をいたしますので、ご予約をお願いいたします。

以上でございます。

教育長

ただいまの二十歳の集いについて何かご質問はありますか。

太田委員

主催のところで、登壇以外教育委員ということで、教育委員というのは主催側に入るということで、登壇はしないけど主催という、こういう受け取りでよろしいでしょうか。

生涯学習課主幹

そうですね、アリーナ1階に来賓席というのが設けられますので、そちらに座っていただくことになります。

太田委員

来賓には入るけど、一応主催ということですね。

生涯学習課長

そうです。

太田委員

はい、分かりました。

教育長

その他、二十歳の集いでよろしかったでしょうか。

では、ぜひご予約に入れていただいて、ご出席いただくようお願いいたします。

先ほどの日程の説明で学校訪問とか教育関係イベント等の説明も、もしありましたらお願いしたいですが、学校教育課長は、今週の研究発表のことはよろしかったですかね。

学校教育課長

ご案内させていただいたとおり、10月26日の午後に伊良湖岬小学校、田原南部小学校の研究発表がありますので、よろしく願いいたします。

音楽会につきましては、今日、案内が配られておりますが11月25日土曜日の午前の部、午後の部とありますので、またよろしく願いします。

それから、学習発表会につきましては、この大きな封筒でそれぞれの委員さんが行かれる学校のご案内が入っておりますので、よろしく願いします。

教育長

その他、よろしかったでしょうか。

文化財課長

お願いいたします。

	特別展が開催中でありますが、関連でお知らせさせていただきたい と思います。11月3日に平野啓一郎さんの講演会ですが、150名募集し たのですが、100名のお席を増加して250名で今現在申込みが終 了ということでさせていただいておりますので、おかげさまで盛況の うちに終えることができるのかなと思います。教育委員さんも、もし、 聞きたいという方がおられましたら、席を確保させていただきますの で、おっしゃっていただければと思います。11月3日の午後1時半か ら開催になります。 また、11月5日の日にシェルマ吉胡で秋のイベントを開催します。 通常、例年だと縄文まつりという形で開催させていただいたのを、少 し規模を縮小しまして、秋のイベントという名称で開催をしていきま す。こちらは、午前10時から午後4時ぐらいまで開催しておりますの で、よかったらまた顔を出していただければと思います。 以上です。
教育長	他に関連する各課で、お知らせをするようなことがありましたら、 よろしかったでしょうか。 委員さんから何か聞きたいこととかありませんか。よろしかったで すか。
田中委員	12月24日の渥美半島駅伝大会は、普通に応援にいけばよいのでし ょうか。
スポーツ課長補佐	はい。一般の方と同じように、普通に応援に行っていただければ、 ありがたく思います。
田中委員	ありがとうございます。
教育長	スタートが渥美運動公園ですね。
スポーツ課長補佐	男子が渥美運動公園、女子が赤羽根市民センターで、1時にスター トさせていただきます。
教育長	もしよろしかったら、ぜひ見学、応援に行っていただければと思い ます。よろしくお願いします。
田中委員	ありがとうございます。
教育長	それでは、今出ているもの以外に、何か事務局から連絡・依頼等あ りましたらお願いします。
事務局	ありません。
教育長	よろしいでしょうか。 それでは、委員の皆さんから何か連絡等ございましたらお願いしま す。 よろしいでしょうか。 では、特にないようですので、以上で本日の議事は全て終了いたし ました。ご協力ありがとうございました。 これをもちまして、田原市教育委員会第10回定例会を閉会とさせて いただきます。

ありがとうございました。
閉会午後 2 時20分

教育長

委員

委員